

自分に自信をもった学校生活



校長 小林 正樹

猛暑の夏休みが終わり、2学期始業式には、元気な姿を見取ることができました。夏休み中、お子様の健康に十分気を配り見守ってくださいました保護者の皆様、心より感謝申し上げます。学校といたしましても残暑が厳しい毎日が続きますが、引き続き、熱中症対策に配慮しながら教育活動を進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、2学期は、多くの行事があります。例年、さいたま市では新人体育大会や駅伝競走大会等、校内でも合唱コンクールといった大きな行事があります。これらの行事への取組を通して、「自分に自信をもった学校生活」を送ってほしいと期待します。そのために、皆さんに意識してほしいことをいくつかお伝えします。

1つ目は、友達の頑張りやいいところを認めることです。人は誰でも長所と短所をもっています。どうしても、欠点が目につきやすいですが、大事なことは友達の頑張りやいいところを認め、褒めることです。これから、学級の中でさまざまな活動がありますが、そこでその頑張りやいいところを認めることで人間関係が深まっていくと確信します。皆さんイメージしてみてください。友達の欠点ばかり指摘し合って信頼関係は築けるとおもいますか？友達の頑張りやいいところを積極的に認めることが人間関係を築く上でとても大切なことです。

2つ目は、人の失敗を笑ったり、非難したりしないことです。皆さんは、知らないことを学び、様々な経験を通して、新しい知識や技能を身につけるために学校に来ていることでしょう。知らないことを学ぶ訳ですから、当然、質問されて間違えることも多々ある、またクラスの前に出てとても緊張して失敗した経験は誰でもあると思います。大事なことは、このような間違っただけの発言や、失敗したことに対して笑ったり、からかったりしないことです。思ったことが自由に言える、安心して失敗できる。そんな雰囲気をもみんなで創ることで、安心して発言し、互いに学び合える、互いに成長できるクラスを作り上げてほしいと考えます。

3つ目は、集団行動をする上での、こころある行動です。学校生活では、誰でも困難なことにぶつかったり、友人とトラブルになったりすることがあります。そんな時、まず矢印の先を自分に向けて、自分に厳しい解決策を見つけられるように心がけてください。自分に甘くして人のせいにしたり、あきらめたりすることは簡単です。そんな自分を乗り越え、相手やトラブルにきちんと向き合うことができるようになると、新しい自分が見つけれられるかもしれません。自分を大切にすることは、仲間を大切にすることにもつながります。と同時に仲間のやさしさや痛みがわかり、思いやる心が自分を成長させるカギとなります。人間の行動で一番残念なことは人をバカにしたり、人を非難したりすることです。それは、いじめにつながります。大切なことは人を思いやり、人を認めることです。みなさんにはこれからも、思いやりと認め合いのこころを大切にしてほしいと強く願っています。

最後に、保護者・地域の皆様には、この2学期も引く続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。